

平成25年度事務事業評価調書

整理番号	18	枝番	1
評価担当課	生活環境課環境・生活安全係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	交通安全推進事業			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	無	主要施策	5	交通安全
		基本事業	3	冬期の交通安全の確保
		実施計画事業	1	冬期間の安全運転教育の実施

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	交通安全運動を展開することで、交通事故を防止し、市民の安全安心を守る			
対象(何を又は誰を)	幼児から高齢者まで、全市民を対象に啓発・教育活動を展開する。			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	期別及び特別交通安全運動、市民交通安全の日、交通安全教室、パトライト作戦、交通安全モデル町内会の設置等			
意図(どのような成果を期待しているか)	市民の交通安全を図り、安全安心な市民生活を確保する。			
事業実施主体	名寄市、名寄市交通安全運動推進委員会			
事業実施方法	直接	一部委託	全部委託	補助券 請負 その他( )
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等	名寄市交通安全条例、名寄市交通安全計画			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容		単位		H22	H23	H24	H25見込	目標年度 ( 年度)
	1	2			実績				
活動指標	1	冬の交通安全啓発・教育活動の参加者数 (冬の交通安全運動期間中)	人	目標					
				実績	315	474	629		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
成果指標	1	冬の交通安全啓発・教育活動の参加者数 (冬の交通安全運動期間中)	人	目標					
				実績	315	474	629		
	2			目標					
				実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H22決算	H23決算	H24決算	H25予算	平成24年度の事業費内訳	
事業費	12,140	14,311	12,093	12,130	嘱託職員報酬 6,049 交通安全推進員 1人 女性交通安全教育指導員 4人 共済費 255 報償費 226 旅費 102 需用費 483 負担金補助及び交付金 4団体 4,978 合計 12,093	
人件費	1,982	2,005	1,989	1,989		
平均給与額	6,608	6,683	6,629	6,629		
担当職員数	0.30	0.30	0.30	0.30		
総事業費	14,122	16,316	14,082	14,119		
対前年比(%)	—	116	86	100	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	3,035	3,358	3,023	3,032	総事業費/4 (年間の活動割を春夏秋冬の4期とした)
	活動指標2					
	活動指標3					

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 ( ) <input checked="" type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性	a	本事業は、名寄市交通安全条例及び名寄市交通安全計画に基づき、市民の交通事故防止と安全安心を守るために必須のものである。今後も市及び関係機関・団体・地域との役割分担をして、市として一層の係わりが必要と考える。
有効性	a	交通事故の原因は、安全不確認、前方不注意、操作不適等を含む安全運転義務違反が全体の7割近くを占め、いわゆる「うっかり、ぼんやり型の事故」が多く、交通安全に対する啓発・教育活動は有効な手段と考える。
効率性	a	関係期間・団体等の積極的な取り組みにより、近年の交通事故発生件数、負傷者数は、減少傾向にある。少ない経費で、最大の効果を上げるよう努力している。また、交通安全指導員は、ボランティアの活動であっても、積極的・献身的に街頭啓発・イベント等の交通指導に出動いただいている。
公平性	a	幼児から高齢者まで、各種事業を展開しており、公平かつ公正であると考ええる。
達成度	a	運動期間中の街頭啓発は気象条件によって実施の有無が左右され、実績としても変動のあるところであるが、さらなる市民参加を促していく必要がある。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	交通事故撲滅には、各関係機関・団体等の積極的な取り組みが必要であり今後も継続していかなければなりません。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し		
D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	関係機関・団体・地域との役割分担による交通安全運動の推進が活発に行われており、今後も継続した取り組みが必要である。